



学校だより

# 往来ヶ丘

令和5年度 第5号

令和5年9月20日発行

江津市立高角小学校

江津市嘉久志町イ 645 番地

文責:校長 舟木志郎

学校教育目標  
めざす子ども像

豊かな心とたくましさを持ち、確かな学力を身につけた子どもの育成  
たのしむ子 かかわる子 つづける子 のびやかな子

## 走った! 合わせた! はじけた! 泣いた笑った! 運動会!!



9月16日(土)、天候にも恵まれ運動会を開催しました。久しぶりに地域の方・保護者の皆様にもおいでいただき、競技で一生懸命「走る」姿に応援いただきました。子どもたちも歓声をあげ、活気ある運動会となりました。

6年生は1学期の終わりから、スローガンや応援パフォーマンスの内容を相談し練習し、4年生以上が取り組んだ鼓笛も、夏休みから練習を積み上げて、息と気持ちの「合った」演技を繰り広げました。



各色、低学年を巻き込んで元気いっぱいのパフォーマンス

指揮に合わせ、キビキビした動きと演奏を繰り上げました。

半日開催としましたが、話し合いを繰り返して練習を積み上げ、本番ですばらしい力を発揮してくれた子ども達です。「めざす子ども像」の姿の一面を体現する、充実した活動となりました。

低学年の子ども一生懸命応援

学年ごとの種目。難易度も上がります。



二人三脚。六年生は最後の親子で



低学年～中学年～高学年、バトンパスの技術も進化します

「水球教室」 2030年の「国スポ」で、江津で開催される競技の一つ「水球」を、希望する児童が夏休みに体験しました。競技経験のある本校の北川教諭や江津高校の生徒、指導者の方から教えてもらい、元気いっぱい取り組んでいました。「シュートを決められてうれしかった」「パスしながら前に運ぶのが楽しかった」との感想がありました。また、高校生も「楽しかった」と言っていました。



## 「石見根付」見学

今井美術館で石見根付の展覧会が開かれています(9/2～10/1)が、公開に先駆ける形で見学しました。市の教育委員会の方から、石見根付の特徴や作者の清水巖(3代にわたる作者の総称)が嘉久志町に暮らしていたこと、大英博物館などにも所蔵される貴重なものだという、地域の研究者の七田眞氏が光を当てるまで地元ではあまり知られていなかったことなどを教えてもらい、興味津々で展示会場に。「根付には微細な彫刻で作者のことや和歌などが刻まれている」との解説を聞くと、さらに目を見開いて根付を見ていました。



## 石見根付の特徴

**Check 1** 石見根付は、くも、せみ、むかで、ねずみ、亀など、自然の中に生きる虫や小動物を彫刻したものが多です。

**Check 2** 猿の牙に彫刻したものが多く、他の地域の根付にはない、いちばんの特徴と言えます。

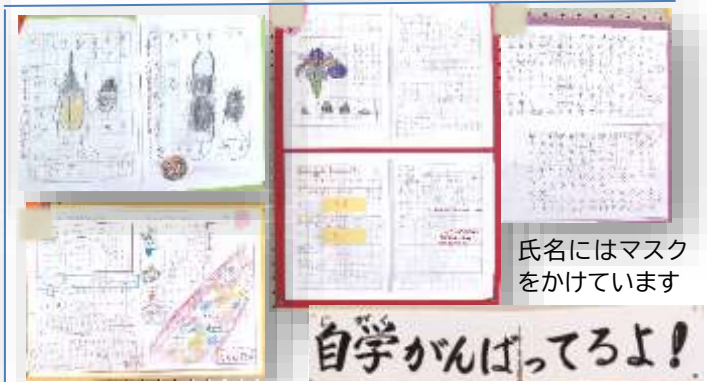
他にもこんな素材が使われます！

- くじらの歯
- 象牙
- 犀角
- 鹿角

『石見根付を知ろう 根付入門ガイドブック』(七田教育研究所)より

## 夏休みの成果「校内作品展」

子ども達は夏休みに「自由研究・作品づくり」に取り組みました。作品を一堂に展示し作品展を開催しました。保護者の方にも来場いただき、ありがとうございました。自由研究(科学作品)の内、9点を市の科学作品展(9/23～24)に出品します。



自学ノートで、頑張りやすくて工夫が見られるノートを昇降口に掲示して、みんなの参考にしてもらっています。低学年から6年生、ノートの取り方内容も進歩です。

## 校内寸描

### 雨の日の登校



天気の良い日だけでなく、雨の日の登校もあります。傘をさして、中には長靴をはいて、坂道を登ってきます。風が強いとカッパの子も。雨の登校は大変だけど、その一步一步がたくましい子になっていくと思います。

## 編集雑記

今年の夏は、例年以上の暑さと日照りでした。校門前に植えていただいたヒマワリや「ヒマワリプロジェクト」のヒマワリも夏を無事に越すことができませんでした。8月30日の始業の日、大きな事故もなく夏休みを過ごした児童たちが元気に登校してくれました。2名の転入生を迎え、全校児童200名で2学期をスタートしました。「実りの秋」と言われます。行事や様々な活動、学習を通して、一段とたくましい「た・か・つ」の子になることを期待しています。

一部の写真は加工をして  
てぼかしています

ご質問・ご意見をお待ちしています  
カラー版は HP で掲載しています

mail: takatsuno-sho@gotsu.ed.jp  
https://www.city.gotsu.lg.jp/site/takatsuno/